

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスLokahi			
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	年 月 日		～	年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	●自然豊かな場所にあり、他職種在籍しているため個々に合わせた支援が受けられる。 ※より強化・充実を図ることが期待されること	●放課後等デイサービスに特化した事業所の為、個々の下校時間に合わせて送迎することで負担を減らすことができている。また、自然豊かな場所にある為戸外にてのびのびと活動することができるような活動内容の立案を実施している。	●他職種在籍していることで、それぞれ働いてきた経歴の違いもある為支援の方法を統一が今後の課題であると感じている。それぞれが持てる力を発揮できるような仕組みづくりと研修制度、都度の指導の仕組み等をケース会議当を利用しながら共有できいくとより充実を図るのではないかと感じている。
2	●個々の支援を時間をかけて考察できる	●長期休暇以外は突発的な送迎がない場合にはじっくりと児童の支援について協議する事ができる。タイムスケジュールを組み立てて話し合いを十分に持てるようにしている。	●十分に時間があるが故に、記録をせねばと思いが強い場面を多々感じられる。そのケースに合わせて時間を使う場所を考察できると質の向上が目指せるのではないかと。業務効率化として見直せる作業は効率化し職員の負担軽減と支援に対する学習の時間を捻出する予定である。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	●個々に合わせた送迎を実施していることから、送迎車両と人員が必要になる。	●ドライバーのみを採用することで課題をクリアしているが、実質的には送迎中も支援の必要性があることもあり安全管理の面や児童の気持ちの促しが難しいと感じる。	●支援もできるドライバーの採用を目指す、もしくはスタッフを多く雇用しようとするが、現在の報酬形態から現在の人員配置以上の配置以上を目指すことが難しい。人員配置の基準の緩和があるとより良い支援になる。また、保護者へ協力をいただく必要がある。延長加算等もあるが対応が難しい。
2	●質の向上のための手段が不足している。	●時間確保が容易にできるため法定研修等はじっくり実施する事が容易であるが、質の向上のための研修や個別のスキルアップが難しい事がある。	●法定研修のeラーニングを個別で受ける事ができるように研修制度の導入を実施した。その中で個別にスキルアップのための自己学習があるため研修制度を使用しながら容易にスキルアップできる環境を整え、ケース会議やカンファレンス、事例検討会を設けてそれぞれの支援の在り方を考察できる時間を作っていく。最終的にはそれぞれが事例発表ができる様にしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後当デイサービスLokahi

公表日 令和7年3月20日

利用児童数

13名

回収数

7枚

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1				●ご意見ありがとうございます。生活しやすいように構造化にて提示しております。現在バリアフリー化を必要とする児童様がいらっしゃらないので、対応していません。
	4	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	5	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7					
適切な 支援の 提供	7	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	8	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	7					
	9	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2				●ご意見ありがとうございます。保護者様の就労等を考慮し父母の会を設けておりません。行事等を通してきょうだい同士の交流が図れるよう支援を提供していきます。
	11	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1				●ご意見ありがとうございます。ご家族や児童様より相談の申し入れに迅速に対応できるように対応させていただきます。
	12	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	13	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7					
保護者 への 説明 等	14	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
	15	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7					
	16	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7					
	17	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7					
非常 時 等 の 対 応	18	事業所の支援に満足していますか。	7					
	満足度							

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスLokahi				公表日		令和7年3月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	●児童に合わせて見通しが持てるように提示をしたり、絵カードを使用したりしております。	●職員同士の共通理解ができていないのではと感じます。構造化、障害特性の理解を徹底し参ります。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		●支援前や支援後には適宜掃除を実施しております。また、定期的を送迎車の洗車しております。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		●申出がある際や職員より提示することにより、利用しやすいように支援している。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	年に1回評価表により保護者様の意向を伺っております。また、弊社ホームページにて公表しておりますので是非ご覧ください。	●公表時に通知の徹底を実施して参ります。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		●現在第三者による評価を実施しておりません。委員会としては地域の方に担っていただいております。地域の方を招いて日々評価していただいております。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5						
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5						
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		●チームでの立案ができるよう配慮していきます。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5						
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5						

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		●支援開始前にやり取りができるようにタイムスケジュールを組みます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・毎回はできていないが、週に1回以上できるように努力している。	●支援後の情報共有は送迎の時間の兼ね合いもあるため次の日に振り返りができるようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	●同法人内の児発を利用されているかたは共有できています。	●就学前に利用していた関係機関とは、情報共有は実質的に難しいことが多くありますので保護者様より情報をいただいております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		●児童発達センターとの連携を図りたいが、機会がないので今後も企画することはない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		●当市では自立支援協議会は一部の方みの参加しか許されておらず開けていない為参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		●保護者様の就労等を考慮市なるべく、行事等とかなるよう実施しています。改めて研修等は実施していない。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		●保護者様の就労等を考慮し、改めて父母の会を設けることをしていません。行事等にきょうだい同士で交流する機会を設けている。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		●地域の住民の方を招待することはしておりませんが、いつでも招くことができるように準備しておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		●現在、アレルギー食に値する児童がいません。必要に応じて指示書の発行をお願いいたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	2		●ヒヤリハットの様式は容易しておりますが該当する事案がございません。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				